研究機関名:東北大学

受付番号: 2016-1-339
研究課題名
肺静脈狭窄症の病理組織学的変化の検証
実施責任者(所属部局・分野等・職名・氏名):
医学系研究科 心臓血管外科 教授 齋木佳克
研究期間 西暦 2016 年 10 月(倫理委員会承認後)~ 2017 年 12 月
対象材料 肺組織標本
☑過去に採取され保存されている人体から取得した試料
☑病理材料(対象臓器名: 肺) □生検材料(対象臓器名:)
□血液材料 □遊離細胞 □その他()
□研究に用いる情報
□カルテ情報 □アンケート □その他 ()
対象材料の採取期間:西暦 2003 年 1 月~西暦 2013 年 12 月
対象材料の詳細情報・数量等:東北大学心臓血管外科で肺生検診断を施行した患者のうち、病
理診断として肺静脈狭窄が顕著に観察される3症例の標本を対象とする。
研究の目的、意義

肺静脈狭窄症は総肺静脈還流異常症術後に生じる致命的合併症の一つである。病理組織学的変化として肺静脈に内膜肥厚が生じることが知られているが、その発症のメカニズムに関しては十分な検証がなされていない。今回病理標本に新たに免疫染色を加えることにより、その発症メカニズムの一助とすることを目的とする。

実施方法

パラフィンブロックから新たに薄切し、免疫染色(α SMA、CD31、Ki67、TGFbeta1、Smad2/3)を行う。これまでの報告で肺静脈に新生内膜が形成されており、その新生内膜内で上記のタンパク質が発現していることが示唆されている。本検討に用いる標本でも内膜肥厚が観察される症例を選択しており、これらの患者において上記を免疫染色し、新生内膜内で上記のタンパク質が局所的に発現しているかどうかを確認する。

連結不可能匿名化後の情報に対して対象者から拒否の申し出があっても対応することはできない。

研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法

本研究の計画書、方法に関する資料は閲覧可能であり、必要時は下記問い合わせ窓口に連絡を頂く。ただし他の研究対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障のない範囲とする。

個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先:「本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口」 ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- <人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>
- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。 保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入しを情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- <人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>
- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口

問い合わせ・苦情等の窓口

東北大学心臓血管外科医局

正木 直樹、齋木 佳克

住所 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

電話番号 022-717-722